

事務事業マネジメントシート(平成22年度実績と平成23年度計画)

平成23年10月14日更新

事務事業名		子どもフェスティバル開催支援事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	教育委員会事務局	課長名	上原哲也
	施策	18	子どもを見守り、育てる地域づくり			所属課	生涯学習課	担当者名	渡辺紀子
	基本事業	59	地域における子育て支援			所属班	生涯学習班	(内線)	1513
予算科目		会計一般	款10	項5	目1	事業連番10595	法令根拠	合志市社会教育関係団体活動事業補助金交付要綱 成果優先度評価結果：⑫ コスト削減優先度評価結果：⑥	
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 22年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	子どもフェスティバル実行委員会への補助金の交付平成14年度に旧合志町の子どもたちを対象に、大きな祭りを開催することになり、始まった。合併前は旧合志町の子どもが対象であったが、合併後旧西合志町の子どもたちも対象になり、数は倍増した。
(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	
【業務の流れ】	実行委員長からの事業計画承認申請書受理→補助金交付内示通知書交付→補助金交付申請書受理→補助金交付決定通知書交付→補助金概算払申請書・請求書受理→補助金の支払→事業実績報告書受理→補助金交付確定通知書交付→補助金の精算
【主な予算費目】	負担金補助及び交付金
【意見や要望】	平成20年度からは補助金額が約半分になり、事業を縮小せざるを得ない状況になっているが、なんとか以前の規模で実施したいとの意見もある。
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分	
①手段(主な活動)22年度実績(22年度に行った主な活動)(DO)	合志市子どもフェスティバル実行委員会に対して、1,000千円の補助金を交付した。	23年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)	合志市子どもフェスティバル実行委員会に対して、1,000千円の補助金を交付予定。
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)千円	予算の主な増減の理由	
→ ア 補助金額	千円	事業内容による増減はない。	
イ			
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	合志市内の子ども	②対象指標(対象の大きさを表す指標)	(単位)人
		→ ア 子どもの人口(4才~14才)	人
		イ	
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	子どもフェスティバルを開催してもらい、子どもたちにあそび・学び・体験活動の場を提供する。	③成果指標(意図の達成度を表す指標)	(単位)人
		→ ア 子どもフェスティバルに参加した子どもの数	人
		イ	
*③成果指標設定の理由と23年度目標値設定の根拠			
子ども自身による事業企画を支援し、より多く楽しめた参加者数を設定した。			

(2)各指標・総事業費の推移		単位	20年度実績(決算)	21年度実績(決算)	22年度目標(当初予算)	22年度実績(決算)	23年度目標(当初予算)	24年度予定	25年度見込	
①活動指標	ア	千円	1,000	1,100	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	
	イ									
②対象指標	ア	人	6,592	6,592	6,600	6,908	7,000	7,000	7,000	
	イ									
③成果指標	ア	人	1,785	1,800	2,000	1,701	2,000	2,000	2,000	
	イ									
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円				496	400		
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
		一般財源	千円	1,000	1,100		427	600	1,000	1,000
	人件費	(A)事業費計	千円	1,000	1,100	0	923	1,000	1,000	1,000
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(B)人件費計	千円	40	39	2,388	3,769	2,472	0	0
トータルコスト(A)+(B)	千円	1,040	1,139	2,388	4,692	3,472	1,000	1,000		

総トータルコスト  
全体計画  
~ 年度

(期間限定複数年度のみ記載)

事務事業名	子どもフェスティバル開催支援事業	所属部	教育委員会事務局	所属課	生涯学習課
-------	------------------	-----	----------	-----	-------

## 2 評価の部 (SEE)

\*原則は22年度の後評価、ただし複数年度事業は22年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①22年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②23年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 毎年実施しており、次年度も大人、子ども実行委員会、各団体と連携し事業を実施する。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになっていないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 成果としては一定の水準に達していると思われる。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 他に類似事業がない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 団体への助成金は、市全体での見直しが必要であり、それに伴い金額が削減されることも考慮しなくてはならない。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 本事業に関しては必要最小限の人件費しか投入していない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 広く全市の子どもたちに参加の機会があり、公平であると思われる。
	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 大人実行委員や子ども会等各団体の協力も得て実施しており、適正である。

## 3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

例年以上に参加者数も増え、大きな怪我人もなく事業開催できた。本年度の反省箇所を踏まえ、次年度はより効率的に事業を運営したい。

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案) (PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下		
				コスト																	
		削減	維持	増加																	
成果	向上																				
	維持		○																		
	低下																				
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																					